

豊後大野警察署協議会

第1回会議の開催状況

第1	開催月日
	令和5年6月23日（金）

第2	出席者
	公安委員 協議会 委員 5名 警察署 署長、副署長、総務会計課長、地域交通課長、警備課長、 刑事係長、生活安全係長、総務係長 8名

第3 議事の概要

- 1 業務説明等
警察署から
・業務重点推進状況等
について説明がなされた。
- 2 諮問事項の決定
警察署から、協議会における諮問事項として
・交通事故防止対策及び特殊詐欺被害防止対策
について提案がなされ、委員の賛同を得た。
- 3 意見、質疑応答等
 - (1) 委員から「大野町の4車線道路ですが、途中休めるように、中央分離帯に滞留場所が設けられている場所があります。この滞留場所のパイプの高さが高すぎて、横断歩道を渡っていた背の低い高齢者の姿がパイプで隠れて見えず、危ないと感じました。確認をお願いします。」旨の意見がなされ、警察署から「現場を確認し、視認性が悪ければ、土木事務所と検討します。」旨の説明がなされた。
 - (2) 委員から「賽銭や農機具の盗難が発生していると聞きましたが、深夜の警ら体制はどのようにしていますか。」旨の質問がなされ、警察署から「夜間は、当署と本部自動車警ら隊のパトカーで警らをしています。農機具の盗難は、夜間だけでなく、日中、倉庫から盗まれたというケースもあり、夜間の警らだけでなく、鍵かけ広報も継続して行いたいと思います。」旨の説明がなされた。
 - (3) 委員から「深夜、賽銭盗等の犯罪が発生していると聞きましたが、犬飼町も夜は街灯が少なく、真っ暗です。センサーライト等を設置することで、夜間の犯罪が起きにくくなるのではないかと思います。また、女性・子どもに対する声かけ事案ですが、警察に届け出ることを躊躇する方もおり、もっと警察に相談しやすい窓口があると女性も安心して相談できるのではないかと思います。児童虐待については、どの程度を通報すればいいのか悩むことがあり、基準のようなものがあれば、通報しやすくなるのではないかと思います。」旨の意見が寄せられ、警察署から「賽銭盗の被害防止のため、神社にセンサーライトや防犯カメラの設置促進を呼びかけています。また、DV・ストーカー事案は、当署にも女性警察官がおり、女性の被害者が安心して相談できるような体制を組んでいます。児童虐待事案は、発生してからでは遅いので、親の怒鳴り声をする等、気になることがあれば、すぐに通報して頂きたい。」旨の説明がなされた。
 - (4) 委員から「管内における速度違反取締りの話がありましたが、車の運転中、スピードを出すと警察の話思い出すくらい、講話などで、何度も繰り返し、速度取締りの話をされると効果的だと思います。」旨の意見が寄せられ、警察署から「今後も各種メディアを利用して、広報していく予定です。」旨の説明がなされた。
 - (5) 委員から「旧57号線と大野町商店街が交わる道路のセンターラインが消えかけていますが、何処に問い合わせれば良いですか。」旨の質問がなされ、警察署から「道路の管理者によって異なります。県道であれば県土木事務所、市道であれば市なので、場所を確認して対応します。」旨の説明がなされた。
 - (6) 委員から「『まもめーる』のアプリ版を利用しています。例えば声かけ事案ですが、地図機能と連携されており、発生場所が瞬時に分かる非常に便利な機能だと感心しました。」旨の意見が寄せられ、警察署から「不審者だけでなく、特殊詐欺の発生状況や防犯対策も配信しているので、ぜひ周りの方にも勧めて頂きたい。」旨の説明がなされた。

(7) 委員から「ライトの付け忘れか分かりませんが、無灯火の自動車が多いと思います。」旨の意見が寄せられ、警察から「交通安全運動の際に、夕暮れ時の早めのライト点灯を呼びかけてはいるが、今後も継続して呼びかけしたい。」旨の説明がなされた。

4 公安委員講評

公安委員から「市民の安全安心に資する特殊詐欺対策、速度取締りを行うと共に、市民がより利用し易い警察署となるよう、今後とも協議会と警察署の連携強化を図っていただきたい。」旨の講評を受けた。